

1年間を振り返って、「紫竹校の育てたい子ども像」は、育っていると思われませんか。

回答数は、児童は276名、保護者の方は30名（2月の参観日の時のアンケートからです）、教職員は20名で、すべて%で出しています。保護者の方々の回答は全体数に比べて少ない回答で、%の数値が保護者の方々の思いを表しているとは言い切れないと思います。今後は更に多くの方々の回答が得られますよう、一層のご協力をお願いします。

表の中の数字は、上段が児童、中段が保護者、下段が教職員の回答割合です。

(A...よくあてはまる, B...ややあてはまる, C...あまりあてはまらない, D...あてはまらない)

		A	B	C	D
1	人の話をしっかり聞く子	39	48	10	3
		37	50	13	0
		0	88	12	0
2	自分で考えて意見を言う子	42	31	24	3
		37	57	6	0
		0	100	0	0
3	根気強く、最後までやりぬく子	49	38	11	1
		27	53	20	0
		0	82	18	0
4	友だちとなかよくする子	63	33	3	1
		57	37	6	0
		6	94	0	0
5	相手の気持ちや立場を考えて協力する子	44	47	8	1
		47	47	3	3
		6	81	13	0
6	近所の人や友だちにあいさつをする子	67	25	5	3
		23	60	17	0
		10	45	40	5
7	いろいろな体験をして感動する子	50	35	11	4
		53	40	7	0
		0	100	0	0
8	物を大切に、後始末をきちんとする子	43	43	10	4
		7	57	33	3
		0	50	50	0
9	子どもは、楽しく学校生活を送っている。	64	28	5	3
		77	20	3	0
		18	82	0	0
10	学校は、子どもたち一人一人の人権を大切に教育を進めている。	53	43	3	1
		57	40	3	0
		25	75	0	0
11	子どもは、学校であったことを家で話している。	51	34	11	4
		57	33	7	3
12	子どもは、毎日の授業が楽しくわかりやすいと言っている。	37	57	3	3
		0	71	29	0
13	学校は、健康や安全面に配慮して教育活動を進めている。	50	44	3	3
		25	75	0	0
14	学校内の環境美化や掲示物の工夫が適切になされている。	57	40	3	0
		20	75	5	0
15	学校は、教育方針や取組を学校だよりや学級だよりでわかりやすく知らせている。	63	30	7	0
		30	70	0	0

《保護者の方々のご意見・ご感想》

アンケートの回答以外にも多くの方々からご意見・ご感想をいただきました。紙面の都合上、すべてのお声を掲載できませんが、一部紹介させていただきます。

- 子ども達が元気に発表している姿に、エネルギーをいっぱいもらった感じがしました。一人一人個性的で、こんな素敵な仲間達と共に学んだり遊んだりする経験をさせてもらえることに感謝です。
- 図工展は、いろんな学年の作品を見ることができ、それぞれ本当に素晴らしいと思いました。いろいろと工夫をして、失敗しながらもがんばって取り組んでいることが伝わってきました。
- 2年生は、グループごとの詩の発表や歌の発表で、とてもいきいきと上手に発表できていました。とても面白く、工夫されていました。歌も手話をつけたり、表情豊かでとてもよかったと思います。

- ・ クラスでの音楽や図工の取組によって、これまであまり興味のなかった芸術への関心が芽生えたと思います。家庭でもリサイクル工作や絵の具、粘土に積極的に取り組むようになっていきます。反面、仲よしグループが生まれてきて、決まった友達と遊ぶだけになっている気がします。
- ・ 4年生は、1年間でできるようになったことの発表で、子ども達の作文と実演で、一人一人が堂々と発表できていてとてもよかったとおもいました。
- ・ つい引き込まれてしまう子ども達の熱演に、家ではわからない成長を感じとることができました。
- ・ 1年生も終わりに近付き、少しずつですが成長したことがうれしく思います。前進、後退しながら、いろんな事を学んで、楽しく過ごしてほしいです。
- ・ 落ち着きがないのが気になります。宿題は、以前よりはマシになったものの、取りかかるまで時間がかかり、取りかかってからもかなりの時間を費やしています。口うるさいのもどうかと思う反面、言わないと全く行動しないので、全てに対してやかましく口出ししている気はします。
- ・ 今日、学校に来た時、「昼休みはどうして遊んでいるのかな？」と見ていましたが見当たらず、他の子ども達は、ボール遊びをしている中、築山にいたようです。「もっと、みんなで遊ばへんの？」と言うと「ボール遊びきらいやし！」と…。いろいろな遊びの中で、成長できることもあると思うので、もっと積極的にかかわってほしいと思います。
- ・ 担任の先生には、もう少し子どもの立場になった声かけや、子どものいいところを見つけて伸ばしてやってほしいと希望します。我が子がよくないのは、親としてはわかっていますが、先生には親が気付いていない、出来ていないところを、親子共に教えて指導していただきたいと思うのは厚かましいですか？
- ・ 発表については、数日前からわくわくしていたのがよくわかりました。当日も大きな声で話していたのを見て、成長を感じました。先生に怒られたこと、ほめられたことを素直に受け止め、自分なりに成長してくれたのではないのでしょうか。毎日、学校が楽しくて仕方ない様子を見ていて、安心して送り出せました。
- ・ 4月に比べ、本当にすごく成長してびっくりしています。本人に合った教育環境のおかげだと思っています。のびのびと育てるとてもうれしく思います。
- ・ 多少の悩みを抱えつつも、必死に物事に取り組む姿勢は、先生がお手本なのだと感じます。

《アンケート結果についての考察》

- ・ 今回から、「子どもは学校であったことを家で話している。」という設問を入れました。子ども達の学校生活を保護者の方が知る上で、とても大切にしていきたいことです。そこで、15%の子どもがC・Dと回答しています。「なぜ、話していないのか」は、このアンケートではわかりませんが、「家で話すほどのこともない」「話すとなんか心配する」「話したくても家の人聞いてくれない」など、その理由を推し測り、対策を立てることは大事です。ご家庭での子ども達の様子に留意していただき、子ども達との対話を大切にしてください。
- ・ ご家庭で「つい口やかましくなってしまう」のは、多くの方が感じておられることだと思います。大人のものさしに合わないから口やかましくなるのは自重しなければなりません、「これはさせなければいけない」ということに関しては、子どもから口やかましく思われようが徹底しなければなりませんね。特に、宿題などの家庭学習の大切さを教えることは、子育ての中で重要ポイントです。学校でも指導をくり返しますので、ご家庭でもよろしく願います。
- ・ わが子が、ボール遊びをする友達から離れて築山で遊んでいたという件ですが、まだ低学年ですから自分の興味・関心の強いことに向かうのは当然ですし、たとえその時間、友達と離れていても心配はないと思います。しかし、自分が興味のないことも、友達との関わりの中で体験していくことも、おっしゃるとおり大切です。折にふれ、学校でもご家庭でも話をすることが必要です。
- ・ 子どものおいところを伸ばす教育は、私達も常に心がけているところです。しかし、つつい注意することに偏った指導になり、反省することも多々あります。ご指摘のように、保護者の方も、子ども本人も気付いていない長所を、しっかりと見極め、伸ばしていける教育者でありたいと思います。
- ・ 仲よしグループが生まれて、決まった友達と遊ぶ件ですが、低学年から中学年にかけては、人と関わる範囲が徐々に広がる時期です。「たとえ一人でも自分のしたいように」から「気の合う仲間、同じ興味・関心を持つ仲間の関わり」へと広がり、「違う興味・関心を持つ仲間との関わりができる」と育っていきます。ご指摘の子ども達は、その成長の過程だと思います。ただ、仲よしグループが発生し、一人でさみしい思いをする子がいたり、何をする時にもそのグループから離れられなくなったりすることは問題です。決まった友達も大切にさせながら、そうした問題点についても、学校では指導をしています。ご家庭でも、同じ視点でお話ししていただければうれしいです。